

令和5年度 第3回

宍粟市教育委員会

会 議 録

(要点筆記)

日時 令和5年6月19日 午前9時30分から

場所 宍粟市役所 4階 402・403会議室

第3回（定例）宍粟市教育委員会会議録

● 開会・閉会の年月日時及び場所

令和5年6月19日（月） 午前9時30分～10時40分

兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133番地6 宍粟市役所 4階 402・403会議室

● 会議に出席した者の職氏名

教育委員

中田直人 教育長

片山繁樹 委員

飯田さおり 委員

金本一二 委員

中川まゆみ 委員

事務局

大谷奈雅子 教育部長

大砂正則 次長兼教育総務課長

小池信仁 こども未来課長

水口恵子 社会教育文化財課長

中尾善弘 次長兼まちづくり推進課長

岩本浩二 教育総務課副課長

小河秀義 教育部次長

中田 吏 学校教育課長

岡内由里 こども未来課長（指導担当）

西林文隆 次長兼施設整備課長

梶原昭一 人権推進課長

1 開会

中田教育長が開会した。

2 会議の成立宣言

出席者数5名となり、中田教育長が会議の成立を宣言した。

3 会議録署名委員の指名

署名委員は、中田教育長の指名により、片山委員に決定した。

4 前回会議録の承認

令和5年度第2回（定例）宍粟市教育委員会会議録の承認に関する件

前回の会議録について、大砂次長兼教育総務課長が説明し、承認された。

5 教育長報告

次の5点について、中田教育長が報告した。

（1） 6月議会上程議案の採決予定について

5月の教育委員会で審議いただいた6月補正予算について、明日20日に採決される予定となっている。

(2) 山崎南中学校区学校規模適正化に向けた対応について

これも5月の教育委員会で報告させていただいたとおり、5月20日に戸原地区在住の皆さまを対象とした説明会を開催し、また、5月30日に第1回目の山崎南中学校区の地域の委員会を開催し、出席者から様々な意見をいただいた。後ほど担当から報告するが、教育委員会としては、住民の皆さまの合意形成が図られるならば、適正化を推進していきたいと考えている。

(3) 小中一貫教育に係る取組状況について

6月1日に第1回目の播磨いちのみや小学校・一宮南中学校の小中一貫教育推進プロジェクト会議を開催した。市内では一宮北、千種、波賀に続き、4校目となる。

(4) しそう子ども応援事業、文化財保存活用地域計画策定スケジュールについて

しそう子ども応援事業、また、文化財保存活用地域計画の策定について、それぞれ順調に進めている。後ほど担当より報告する。

(5) 学校給食センター運営委員会の開催について

学校給食センター運営委員会を開催し、今後の持続可能な学校給食の運営について、協議を進めている。後ほど担当より報告する。

6 議事

第3号議案 宍粟市スポーツ施設管理規則の一部を改正する規則について

資料1～4Pにより、「宍粟市体育協会」を「宍粟市スポーツ協会」に名称変更したことに伴う規則改正について、大砂次長兼教育総務課長及び中尾次長兼まちづくり推進課長が説明した。

審議の結果、第3号議案は、提案どおり可決した。

7 協議報告事項

(1) 令和5年度要保護・準要保護児童生徒認定状況について

資料1【5P】により、大砂次長兼教育総務課長が説明した。

(2) 山崎南中学校区学校規模適正化推進状況について

資料2【6～8P】及び別冊資料により、大砂次長兼教育総務課長が説明した。

(3) 小中一貫教育に係る取組と今後の予定について

資料3【9～13P】により、中田学校教育課長が説明した。

(4) 令和5年度宍粟市教育委員会学校訪問日程について

資料4【14～15P】により、中田学校教育課長が説明した。

(5) 令和5年度における教科書展示会について

資料5【16～17P】により、中田学校教育課長が説明した。

委員の主な意見及び事務局の説明

(中川委員)

新聞報道等で教員不足の話を目にするが、小中一貫教育が導入された場合の教職員の負担はどうか。

(中田学校教育課長)

導入にあたっては、プロジェクト会議を実施し、また、小中9年間を見通した子ども像やカリキュラム、学校教育目標の作成など、教職員の負担が増えることを想定していることから、各学校に、小中一貫教育を推進するための教員を1名、導入年度とその翌年度に加配している。

(中田教育長)

負担感だけが増えないよう、絶えず業務改善を図っていくことが大事である。法的な業務は削減することはできないが、それ以外の部分で改善に取り組み、子どもと向き合う時間を確保していくことが大事であるため、教育委員会として、人的なサポートも含めて、しっかりと学校を支援していきたい。

(片山委員)

山崎南中校区の学校規模適正化の地域の委員会について、第1回目の会議が開催され、各委員からさまざまな課題が出されているが、学校の跡地活用、適正化を推進した場合の学校予算、保護者意識調査に対する回答など、現段階でわかるものがあればお聞かせ願いたい。

(大砂次長兼教育総務課長)

1点目の学校の跡地活用については、市の方針として、まず市で活用ができないか検討し、次に地域の拠点として活用ができないか地元自治会等に検討いただき、次に民間で活用ができないかホームページ等で募集を行うことを説明し、また、現在の市内の小学校跡地の活用事例を紹介する予定である。

2点目の適正化を推進した場合の学校予算については、令和4年度決算をベースに維持管理費等を試算し、また、県費負担教職員については、詳細がわからない部分があることから、現状の児童数等から算出される教職員の人数等を報告する予定である。

3点目の保護者意識調査に対する回答については、市の考え方や方針について、QA方式でまとめたものを報告する予定である。

また、地域の委員会の開催については、両校を通じて保護者宛てに案内文書を配布しているほか、ホームページやしーたん通信でも周知を行うこととしている。

(中田教育長)

今年度は小学校教科書の採択替えの時期にあたるが、今後のスケジュールはどうか

ているのか。

(大砂次長兼教育総務課長)

法令の規定により、教科用図書の採択は8月31日までに行う必要があるため、8月の教育委員会で議案として上程し審議いただく予定である。なお、西播磨地区は共同採択を行っており、今年度は赤穂市が事務局を担当し事務を進めている。

(6) 宍粟市社会教育委員の委嘱について

資料6【18P】により、水口社会教育文化財課長が説明した。

(7) 宍粟市青少年問題協議会委員の委嘱について

資料7【19P】により、水口社会教育文化財課長が説明した。

(8) 宍粟市立図書館運営審議会委員の任命について

資料8【20P】により、水口社会教育文化財課長が説明した。

(9) 宍粟市文化財審議委員の委嘱について

資料9【21P】により、水口社会教育文化財課長が説明した。

(10) しそうの子ども応援事業スケジュールについて

資料10【22P】により、水口社会教育文化財課長が説明した。

(11) 宍粟市文化財保存活用地域計画作成スケジュールについて

資料11【23P】により、水口社会教育文化財課長が説明した。

(12) 宍粟市人権教育研究協議会事業計画について

資料12【24～25P】により、水口社会教育文化財課長が説明した。

委員の主な意見及び事務局の説明

(片山委員)

宍粟市文化財保存活用計画の策定については、文化財に対する高度な専門知識を持つ田路専門員を中心に事務を進められていくかと思うので心配ないかと思う。

ただ、田路専門員がずっと在職されるわけではないことから、田路専門員が在職中に、後進の育成についても注力いただきたい。

(水口課長)

田路専門員にはこの計画の策定はもちろんだが、宍粟の文化財について、今後もさまざまな形で関わっていただきたいと考えている。

後進の育成については、危機感を持っている。人材の育成や人材の募集等について、引き続き要望していきたい。

(13) 宍粟市組織規則の一部を改正する規則について

資料13【26～27 P】により、中尾次長兼まちづくり推進課長が説明した。

(14) 宍粟市体育協会活動補助金交付要綱の一部を改正する要綱について

資料14【28～29 P】により、中尾次長兼まちづくり推進課長が説明した。

(15) 人権文化をすすめる学習会について

資料15【30 P】により、梶原人権推進課長が説明した。

(16) 学校給食における異物混入状況について

資料16【31～32 P】により、小河次長が説明した。

(17) 令和5年度「性の多様性」に関する理解促進と教育実践研究事業について

資料17【33 P】により、中田学校教育課長が説明した。

(18) その他

当日配布資料により、学校給食センター運営委員会での持続可能な学校給食に関する協議の状況について、小河次長が説明した。

8 次回会議の招集について

令和5年7月18日（火）午前9時30分から、宍粟市役所4階402・403会議室において、令和5年度第4回宍粟市教育委員会を開催することとした。

9 閉会

片山委員が閉会した。